

第一環境アクア株式会社

かわさきグリーンイノベーションクラスター 会員情報		
企業・団体情報	会社名	第一環境アクア株式会社
	英語表記	DK AQUA Corporation
	代表者名	井出 剛
	住所	東京都港区赤坂二丁目2番12号 NBF赤坂山王スクエア
	連絡先	TEL:03-6277-7620(代表) FAX:03-6277-7621
	資本金	4,000万円
	従業員数	従業員数40名(2022年9月)
	企業HP	http://www.daiichikankyo-aqua.com
事業内容・活動内容	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 除害施設・中水道設備・産業廃水処理施設の設計施工及び保守管理業務 2. 浄化槽の設計施工及び保守管理業務 3. その他水処理装置の設計施工及び保守管理業務 4. 貯水槽及び配管設備の清掃 5. ビル・住宅及び工業団地の総合管理 6. 薬品の販売業務 7. 前各号に付帯関連する一切の業務
	活動内容	<p>●【厨房除害施設】 ビル・商業施設、複合型モール、給食センターなどの厨房排水を下水道に排水する場合、下水道法及び自治体の条例により、下水排除基準以内とするよう定められております。 厨房排水には、多くの油脂分や有機性残渣が含まれているため、従来より物理化学的に油脂分を除去する「加圧浮上処理方式」や有機分を除去・低減する「活性汚泥処理方式」またはそれに類する処理方式が一般的で、除去油脂分や余剰汚泥から発生する大規模な臭気対策と汚泥処分費の発生がお客様の負担となっていました。 第一環境アクアは、このようなお客様負担を低減すべく、当社独自の油脂分解バイオ菌を用いて効率の良い水処理を実現する「BCS(バイオ接触酸化法)」を開発致しました。</p> <p>●【中水設備】 条例や水の有効利用促進要綱を定めるなど、一定規模以上の建築物又は開発事業を計画されている事業主の方を対象に水資源の有効利用を促進するなど積極的に取り組んでおり、近年では、水資源の循環型社会促進を目指し、排水再利用や雨水を再利用した中水設備を採用する建築物や事業が増加しています。 第一環境アクアは、水再利用の基となる原水の性状や規模、再利用に求められる水質、ご予算に応じて多様かつ適切な中水設備を提案します。</p> <p>●【食品工場排水処理施設】 食品工場等、特定施設を有する工場・事業場排水を公共用水域(河川、湖沼等)に排出する場合、水質汚濁防止法により水環境を保全する為に排水基準が設けられています。排水基準は、有害物質、ダイオキシン類及び生活環境項目についての濃度規制基準と、COD(化学的酸素要求量)、全窒素、全燐に係る総量規制があり、生活環境項目は、水域と項目を限定してより厳しい上乘せ基準を設けられている場合があります。 第一環境アクアは、工場の立地条件や規模、製造品目、放流先の水質規制、ご予算に応じ、多様かつ適切な排水処理システムを提案します。</p> <p>その他、導入のご相談から各種届出の代行、設計・施工、運転管理及び水質の測定とその記録、立入検査の対応、お客様の報告義務のサポートなど、トータルサービスが可能です。</p>

かわさきグリーンイノベーションクラスター 製品・技術情報

製品・技術名		「BCS(バイオ接触酸化法)」 バイオで油分や汚濁物質を分解処理するシステムです																																								
製品・技術概要	製品・技術の特徴	1.《水槽容量》3分の2以下とコンパクト設計で導入コストが低減できます 2.処理プロセスにおいて《臭気》が殆ど出ないため、大規模な脱臭装置は必要ありません 3.活性汚泥に依存しないため《余剰汚泥の処分は必要なく》、維持管理コストが低減できます 4.シンプルな処理工程のため《維持管理費》が2分の1以下となります 5.BCS処理後の後段に《中水設備を設ける》ことも可能です																																								
	製品・技術内容詳細	厨房排水の性状、濃度、グリストラップなどの簡易前処理器具の有無、設置面積や深さ等を確認させて頂き、適切かつ導入コスト及び維持管理コストが抑えた厨房除害システムを提案します。																																								
製品・技術詳細	BCS方式と従来法との比較	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>BCS方式</th> <th>活性汚泥方式</th> <th>加圧浮上方式</th> <th>担体流動床方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入コスト</td> <td>◎</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>運転管理コスト</td> <td>◎</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>薬品・担体補充コスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>余剰汚泥処分コスト</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>負荷変動</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>-</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>処理水</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>臭気</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		BCS方式	活性汚泥方式	加圧浮上方式	担体流動床方式	導入コスト	◎	△	×	○	運転管理コスト	◎	△	×	△	薬品・担体補充コスト	○	○	×	○	余剰汚泥処分コスト	◎	×	×	△	負荷変動	○	△	-	×	処理水	○	◎	◎	○	臭気	◎	×	×	×
		BCS方式	活性汚泥方式	加圧浮上方式	担体流動床方式																																					
導入コスト	◎	△	×	○																																						
運転管理コスト	◎	△	×	△																																						
薬品・担体補充コスト	○	○	×	○																																						
余剰汚泥処分コスト	◎	×	×	△																																						
負荷変動	○	△	-	×																																						
処理水	○	◎	◎	○																																						
臭気	◎	×	×	×																																						
製品・技術に関する写真等																																										
優位性	特許や受賞歴等	<p>BCS-MNB《特許取得》 発明の名称:水処理装置 番号:特許第5167447号 登録日:2013年1月1日</p> <p>優秀賞受賞:BCSシステム 『第2回千代田ビジネス大賞環境貢献部門』 受賞日:平成22年3月 受賞評価ポイント ・設備規模がコンパクト ・管理作業が省力的 ・汚泥の処分の必要が無い ・CO2削減にも寄与している</p>																																								